

毎年恒例、小学校の課外学習の受け入れを実施しました！

開催日：2024年10月4日

仙台長町未来共創センター(以下長町 FC)では、2022年の開所以来、近隣の東長町小学校の5学年児童の課外学習の受け入れを実施しています。

第3回目にあたる今年度は、5クラス約140名の児童に対し、それぞれ1時間15分ずつ、防災に関する授業と長町 FC の施設見学を行いました。

東日本大震災よりもあとに生まれた今年の5年生は大きな災害を経験していませんが、学校の授業を通して防災や災害についてたくさん学習をされていました。今回の授業では、まず「災害」と聞いてどんなものが思い浮かぶか、自分たちの生活の中でどのような災害に直面する可能性があるかを児童の皆さんに発表していただいたところ、たくさん手が上がりました。



施設見学（電気の備えについて）

次に、東日本大震災当時の仙台市の様子について写真やスライドを用いて説明し、同様の地震が発生した場合にどのような問題が起きるかなどを各自で考える時間を設けました。

30分の授業の後は、長町 FC の(1)水・食料・生活用品の備え、(2)トイレの備え、(3)電気の備えについて、備蓄物流倉庫内や施設の外構部を実際に見て回る施設見学を行いました。

水・食料・生活用品の備えのコーナーでは、倉庫内の長期保存の備蓄品を手にとって眺めたり、トイレの備えについては、組み立て式のトイレ「ほぼ紙トイレ」に実際に入って みるなど、普段の生活の中では触れる機会の少ない“災害に対する備え”を体験していただきました。

最後の質疑応答のコーナーでは、見学を終えた児童たちから「長町 FC に備蓄してある食品の賞味期限はどれくらい？」「建物がガラス張りなのはどうして？」「ほぼ紙トイレは1台でどれくらい(人数・日数)使えるの？」など、様々な視点からたくさんの質問や感想が飛び出しました。

後日、東長町小学校の児童の皆さんから、課外学習の感想をまとめたお手紙をいただきました。今後も長町 FC では防災に関する情報発信等の活動に努めてまいります。お越しいただいた教職員ならびに児童の皆様、大変ありがとうございました。



授業（東日本大震災の津波被害について）



児童の皆さんからいただいた感想のお手紙

児童の皆さんからの感想

- ・ トイレの備えが3種類もあることに興味を持ちました。ほぼ紙トイレを自分でも組み立てて使ってみたいと思いました。
- ・ 授業を受けたことで、受ける前より防災に詳しくなることができました。
- ・ かまどになるベンチがすごいと思いました。賞味期限が3年以上もある食べ物を初めて見ました。
- ・ 発電機も水で濡れないように地面から離していたり、たくさんの工夫があるんだなと思いました。
- ・ 地震の写真などは怖かったけれど、自分の家でもきちんと備えようと考えることができました。
- ・ 今までどんな施設か知らなかったけれど、今回の授業でいろいろな防災の工夫がある施設だと知ることが出来てよかったです。